



事務局 〒799-3111 伊予市下吾川1512の6
伊予市商工会議所内 TEL 983-0334
FAX 983-2227

例会日 毎週水曜日19:00~20:00

例会場 伊予商工会議所3F大ホール

会長 新 博文

幹事 日野 猛仁

会報委員長 藤井祐一郎

◎ 今日のプログラム 第1878回 (12月20日)
米山奨学生卓話 ゲインティ 財 様 卓話

◎ 前回のプログラム 第1877回 (12月13日)
外部卓話 福岡自然農園 福岡 大樹様 卓話

【外部卓話 福岡自然農園 福岡 大樹様】



祖父福岡正信について説明。1913年伊予市で生まれで少しゆとりがあったようで当時の松山中学校を卒業後岐阜の高等農林学校を卒業。横浜税関で勤め始めるが、24歳の時病気をした影響で無の哲学を実践して証明したいと思った時に自然農法による哲学を実践していこうとスタート。その後、第2次世界大戦が始まり終戦時は高知の農林試験場で終戦を迎えた。終戦後下大平の方にある「どがたに」という山に入り自然農法の実践を始めた。その活動が少しずつ広まり正信の元を訪ねる人が増え、1975年「わら一本の革命」を出し78年に英訳版が発刊。翻訳思想が広まった背景を愛媛大学の先生が

研究している。1980年代に入ると砂漠化問題が世界的な問題となり、当時の国連砂漠化対策局長に砂漠化防止の技術指導を頼まれ中国・インド・アメリカ・アフリカなど世界各地で砂漠緑化に取り組んだ。その代表が粘土団子。泥団子の中に数十種類の植物の種子を入れ砂漠にまく。水分があれば植物が芽を出し、その土地にあった物が自然に育つ。それを続けて行くと生えてくる植物も変わり、最終的に砂漠が緑に覆われるという活動。生涯22に及ぶ書籍やDVD・写真集などを残す。農法は伝える事ができたが、無の哲学は本に書いても伝わらない。無の哲学が亡くなる1週間前に完成し、いろは革命歌を作った。こういう功績が認められ数々の賞を頂いた。そして2008年に95歳で死去。次に父について、正人は大学卒業後農業を継ぎ、少しずつ安定していった。次に私の事について、私は元々勉学の嫌いな子で将来は農家を継ぐと育てられた。中学に入り思春期特有の悩みに直面するが、その解決で自分は農業を継ぐ形で一生の間にどれだけの木を切り倒して資源を使用していくかという悩みをもっていたが一生のうちに2千本の木を消費してしまうと考えた時に、自分の仕事が木を植える事が出来る仕事と考えたら800本位は植える事が出来るかもしれない。自然農法なら消費するより生産の方が上回る可能性があると感じ悩みから脱する事が出来た。25歳で農業をして、経営も安定しそのうち人と栽培面積を増やし安定を図ったが、実際経営は安定していない。支持してくれていた顧客の高齢化で消費量が減る。発生の頻度が多い自然災害も大きなポイント。農園をどう安定させて行くかという課題で、ブランド化させるのが一般的な流れ。祖父の教で自然農法の農作物は他の作物より安くないとダメ。と言い残した影響で苦労している。そうなる自然農法を他の人達はやっていけない。今の世の中ではコスト削減で利益を増やそうという形。そうなる危険性のある危ない物にも手を出す。遺伝子組み換えで作った作物は普段虫が食べるような作物を食べない。虫が食べない物を人間が食べて本当に大丈夫なのか。50年・100年後に自分達の子供や孫に影響はないか。除草剤を使う事により植物をコントロールするのは簡単。人間でも除草剤が大事なようにそれを周辺にばらまいて影響はないのか。自由にお金儲けを頑張りなさいという主義になると思うが、結果お金儲けの得意な人が残って行くという事になる。農業は2万3千年前にイスラエルで麦の栽培が確認され、1万年前に長江流域で稲作が始まったとされますが、1万年かけて試行錯誤をしてそれでもまだ今年不作とか豊作を繰り返すような産業。食の安定化というのは生きていくうえで食べる物はすごく大事な物だと思うが、こうれが不安定になると社会全体が不安定。日本にいと割と食べる事には苦労しないが、それは今現在でも一部の国です。技術が向上しビルの地下で野菜が育つとか。基盤整備をして効率を上げて労働力を減らすとか、役人の人達の主張になるが、そのためにどれだけエネルギー・石油・電気を使っているか。その大きな消費の上に1束百円の野菜が店頭で並んでいる訳だと思うが、そのつけはどこかに溜まっていつか。今後の課題としてスーパーで並んでいる野菜でどの野菜に手を伸ばすかというのも一つの解決策になるのではないと思う。今の農業の現状、例えば私世代の農家が伊予市で何を売るといいながらも数字把握していないが、20代・30代の農業後継者の会があります。今会員数が20人前後でこの伊予市の人口が5万人に対して後継者が20人。実際は他から持ってきたらいいという話になると思いますが、本当にそれで構わないのかというのは一つの問題定義として皆さんも考えて頂ければと思います。以上です。

◎会長報告

1月に大洲で開かれるIMの発表者を西岡学会員にお願いしましたのでよろしくお願い致します。伊予RCの特性と将来像という事で将来像の方が年配の意見しかでないので職業奉仕のアンケート1番最後の所にRCはどうあるべきかとありますので、それをIMの前に資料を整理して頂けるので発表の資料を作して下さい。13名の方に参加して頂く事になりました。

次に今日卓話して頂く福岡大樹さんのお爺さん福岡正信で自然農園を始めた創始者です。この方は自然農法「わら一本の革命」など色んな本を書いています。それが外国語に訳され世界中に本がある。ヨーロッパやアメリカの若者達が感銘を受け伊予市に来ている。伊予市の人に福岡さんの農園と聞くと余り知られていないが、外国の方が有名で外国から来られた方は福岡農園に滞在して農法を勉強して帰っていく時代がかなり続いている。今でもかなりの人数が福岡農園に来ているそうです。正信さんは伊予RCが30年位前、当時合同例会があり当時7RC。今は8RCですが、松山と伊予と合わせて7つのRCが当時の伊予農協会館で行われました。当時のガバナが須之内ハスターガバナ、伊予RCの会長が菊澤さん。そしてその記録を頑張ったのが武智勝廣さん。一生懸命長い間時間がかかって福岡さんが話した事を書き取り出版した。講演が終わった時に今までこういう事はなかったが、菊澤さんが集まった方々に募金箱を回し募金を募り福岡農園に寄付をした。30年前の記憶。武市さんと武智さんに教えて頂きました。

◎マヤ1分間スピーチ

金曜日に学校で餅を作った。杵で餅をつきました。大変でしたがとても楽しかったです。みかんと抹茶と普通の餅を作りました。それから伊予農のみんなと一緒に餅を食べました。あとで選挙がありました。スピーチを聞いて投票しました。アメリカの高校と違って。木曜日に先生と日本の年賀状を書きました。昨日友達と一緒にかるたをしました。初めは分からなかったけどあとで出来ました。自分で2枚取りました。楽しかったです。ありがとうございます。

・ロータリーの友推薦記事 (高橋徹会員)

たて17P「クラブ」に対する不満は自分に対する不満

・ロータリー財団 (西岡委員長)

ロータリー財団で皆さんに少し拠出して下さいとお願いしたのがあの時の話の都合で来年からという事で募金するのを控えていました。来年の新年会の時から受付をしますので、皆様よろしくお願い致します。



◎幹事報告

・例会変更

松山南RC	12/14	職場訪問例会 LIXILショールーム松山
松山北RC	12/18	定例夜間例会18:30~ 伊予鉄会館
松山RC	12/19	クリスマス忘年家族例会 18:30~ 三越
松山西RC	12/19	クリスマス家族例会18:30~ 道後友輪荘

・回覧書類

・配布書類

会報委員会 週報1876回
ロータリーの友事務所 ロータリーの友12月号

◎ゲスト

・福岡自然農園 福岡 大樹 様

◎ニコニコ箱

大野会員 「あいテレビ 柔道杯！児玉さんの娘さん優勝
藤井さんの娘さん準優勝！おめでとうございます。」

新・藤井 (健) ・林・日野 (隆) ・日野 (猛) ・井上
石田・泉・門田・児玉・窪田・見乗・森・西岡・西山
大政・大森・大野・仙波・高畔・高橋 (徹) ・武智
武市・武内・上本

25名 25,000円

◎出席報告

12月13日 出席者 27名・欠席数 8名
ビジター 0名・出席率 77.14%

11月29日 出席数 30名・欠席数 5名
メークアップ 3名 修正出席率 94.28%

◎ 次回のプログラム 第1879回 (12月23日)
クリスマス家族例会 (ウエルピア伊予)

伊予RCホームページアドレス <http://iyo-rc.com/>